

第 105 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2023 年 9 月 1 日（金）13 時 30 分～14 時 45 分

II. 場 所：WEB 会議

III. 出席者：（委員 17 名中、出席者 16 名（代理出席 1 名含む）、欠席者 1 名）

（敬称略）藤田（マックスコーポレーション）、三好（川崎重工業）、飯田（JERA）、
佐藤（発電技検）、長谷川（日鉄テクノロジー）、三原（東北大）、天野（早大）、
松田（HSB ジャパン）、木村（東芝 ESS）、張（電中研）、早川（NIMS）、
添木（大口自家発）、三沢（電源開発）、関根（IHI）、櫻井（日本電気協会）

代理者：高木（堀内委員（火原協）代理）

欠席者：岡（富士電機）

常時参加者：鎌田（経産省）

オブザーバ：鈴木（三菱重工業）、伊藤（IHI）、富永（三菱重工業）

事務局：中村

IV. 配付資料

105-1 第104回火力専門委員会議事録（案）

105-2 専門委員会・分科会委員案

105-3 第106回規格委員会議事録（案）

105-4-1 材料分科会報告

105-4-2 構造分科会報告

105-4-3 溶接分科会報告

105-5 発電用火力設備規格 詳細規定第 I 章 総則 改訂案

V. 議事

1. 前回議事録確認 [105-1]

前回第 104 回（6/2）議事録（案）の確認を行い、「レビュー表」→「レビュー票」に修正を行うこととして議事録案は承認された。

2. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [105-2]

(1) 火力専門委員会委員の推薦承認

以下の新任、再任委員候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任、再任委員候補を規格委員会に推薦することが承認された。

- ・火力専門委員会： （新任） 羽原氏
- （退任） 山本委員、※鈴木委員
- （再任） 藤田委員長、三好副委員長、飯田幹事、佐藤委員

※7月の異動により飯田委員が鈴木委員と同じ所属（JERA）となったことから、同一組織から複数の委員を選任しない、という運営規約に基づき、鈴木委員が退任することとなった。

(2) 分科会委員・役員の承認

各分科会の以下の退任、新任、再任候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任、再任候補が承認された。

- 材料分科会： (新任) なし
 (退任) なし
 (再任) 大熊委員、須藤委員
- 構造分科会： (新任) 菊山氏
 (退任) 田村委員
 (再任) 飯田主査、西田幹事、大熊委員、金城委員、栗本委員
- 溶接分科会： (新任) なし
 (退任) なし
 (再任) 飯田委員、新井委員、後藤委員
- 配管減肉分科会 (新任) 井手氏
 (退任) 尾崎主査
 (再任) 橋井委員、岩澤委員、柳谷委員

3. 報告事項

(1) 発電用設備規格委員会報告

[104-3]

第 106 回規格委員会（6/20WEB 開催）の議事内容のうち、火力及び委員会運営に関連する内容が報告された。

- 発電用火力設備規格に関する審議
 - なし
- 火力専門委員会報告（6/2WEB 開催）

(2) 分科会報告

1) 材料分科会報告

[105-4-1]

伊藤材料分科会主査から以下の報告があった。

- 再任候補についてメール審議を行った。
- J NCF141TB の事例規格案の資料が揃ったため、書面投票の開始を周知した。
- 審議事項はなし
- 次回開催は未定、実施は WEB

2) 構造分科会報告

[105-4-2]

飯田構造分科会主査から第 121 回分科会（8/8 WEB）の議事内容が報告された。主な内容は以下のとおり。

- 第Ⅰ章 総則 改訂案（提案書、審議経緯、新旧対比表）の審議
 - 審議結果を反映させた上で、火力専門委員会に書面投票実施を提案することとした。
- 主査より、年 1 回は対面で構造分科会を開催すること（来年 5 月）が提案された。

○ 次回開催予定は 2023 年 11 月 7 日（火）

3) 溶接分科会報告

[105-4-3]

鈴木溶接分科会主査から再任委員候補の火力専門委員会への推薦のメール審議を行ったことが報告された。次回開催は未定。

4. 審議事項

(1) 発電用火力設備規格 詳細規定第Ⅰ章 総則 改訂案

[105-5]

飯田構造分科会主査から、総則の改訂案の説明がされた。

総則以外の詳細規定についてはⅡ～Ⅶ章のうちⅣ章 圧力容器の改訂案が 8/31 より投票を開始しており、その他の章は既に書面投票済みとなっている。基本規定の改訂案は別途、書面投票を行う予定。

規定の全体構成と各章の適応範囲が記載されている総則の本文については、前回改訂から変更はなく、補遺については、前回発行（2012 年版）以降の発行履歴及び経緯を追記、耐震設計 **規程** JESC 規格の最新承認日に基づく記載に変更（JEAC 3605, JESCT0001(2009) → JEAC 3605, JESCT0001(2019)）、ASME の SI 単位系採用にともなう追記等を行った。SI 単位系の採用により管の呼び径については DN 表記となるが、Ⅲ章 ボイラ改訂案の規格委書面投票において、「DN 表記のみの場合、A 呼称が使用不可と誤解を生む」との指摘があったため、A 呼称も使用できる旨の記載を追加した。設計圧力と最高許容運転圧力の関係については、Ⅲ章改訂案の規格委書面投票における指摘事項を反映した記載を行うとともに、Ⅴ章 配管改訂案の規格委員会書面投票意見の反映として、民間認証制度の規格対象は溶接部に限られていることに鑑みて、溶接部以外の部分を削除することとした。これにともない、用語の定義、要求事項を含む表は削除した。

上記内容を踏まえた書面投票の実施が承認され、書面投票を通じて意見を提示していただくよう各委員に依頼を行った。

Ⅵ. 次回開催予定

日 時：2023 年 11 月 30 日（木） 13:30～17:00

場 所：Web もしくはハイブリッド方式

以 上